

平成17年度 研修講座の特徴

●講座改革の視点 一利用しやすい研修講座を目指して一

センターでは平成17年度の研修講座の策定に当たり、児童生徒や授業を大切にし「学校を支援する」立場から、研修講座の在り方について改革を行いました。前述の「ITECを活用した講座の開催」のほか、次のような方針で改革を進めます。

- 1 教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座内容の策定
- 2 北部研修所の有効活用や午後開催等により、受講者が参加しやすい講座運営
- 3 学校・地域で活躍するための指導者養成講座の実施

受講者が参加しやすい講座運営

授業への影響を少なくすることやセンターまでの通所時間を短縮する視点で、講座を設定しました。

北部研修所を有効活用した講座 (例)

1 講座を2会場分離開講

「道徳教育講座」A（センター会場）（8月25日）総合教育センター
「道徳教育講座」B（北部会場）（8月26日）総合教育センター北部研修所

デジタル疏水等を利用した同時開講

「校長講座Ⅰ」	(6月10日)	総合教育センター、同 北部研修所
「『学校運営基礎』特別講座Ⅰ」	(6月28日)	総合教育センター、同 北部研修所
「『学校運営基礎』特別講座Ⅴ」	(2月6日)	総合教育センター、同 北部研修所
「部長・主任等演習特別講座Ⅱ」	(10月17日)	総合教育センター、同 北部研修所

2講座を隔年交互開講

17年度 「生徒指導講座」	(6月1日)	総合教育センター北部研修所
17年度 「進路指導講座」	(11月14日)	総合教育センター
18年度 「生徒指導講座」	(○月△日)	総合教育センター
18年度 「進路指導講座」	(×月□日)	総合教育センター北部研修所

地域に出かけて開催する講座

教育局別に開催

「小学校理科実験ベーシック講座＜B区分＞」や「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」では、教育局管内別に小・中学校を会場にして実施します。

地域別に開催

「学校教育相談実技実践基礎講座Ⅰ」では、府内を3つの地域に分け、それぞれの会場で該当地域の指導者養成講座修了者を講師に招いて実施します。

柔軟な開催時間の設定

2会場での開催や地域に出かけて開催する講座等により、講座の開始及び終了時刻を柔軟に設定します。特に授業への影響を少なくする視点から、午後半日開催の講座を増やします。

学校・地域で活躍するための指導者養成講座の実施

「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」では、受講者を講座講師として活用するなど、指導者養成講座の受講者が学校や地域で指導的な立場になることを前提に講座内容を設定しています。今後、研究会等での活躍が期待されています。

教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座内容の策定

17年度の研修講座の中で、特徴的な講座を紹介します。

国語力アップ促進講座

新規開講

「国語科の読解力向上」を目指します

—学力に関する国際調査結果（PISA2003）等を受けて

小・中学校連携

国語力アップのために、小・中学校が同じテーブルで協議します。

少人数グループによる研究協議

協議を深めるために、少人数に分かれて行います。

実践的指導力の向上

効果的な指導方法について演習を行います。

学力診断テストの活用

診断テストの結果から国語科の課題を探ります。

専門的な指導・助言

国語教育の専門家から実践的な課題解決に向けた助言を受けます。

小・中学校の実践成果や課題を持ち寄り、研究協議を通して課題解決に取り組みます。

初任者研修講座

「指導の基礎・基本」をみっちりと !!

講座編成や内容事項の改善・充実

「教科指導演習講座」を通して教科指導の実践的な指導力向上

社会人としてのコミュニケーション能力の育成

発問のしかた板書等の基本的指導技術の向上

学習意欲や読解力を向上させる学習指導

1学期の実践の振り返り、2学期の教育実践に生かせる研究協議（宿泊研修）

前年度の初任者の体験発表を通して実践的指導力の向上（開講式）

初任者の声（平成16年度の初任者アンケートから）を生かします。

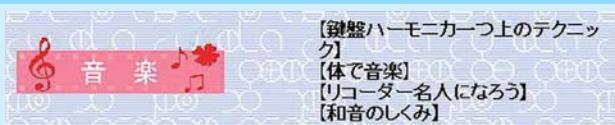
- ・実習や演習を多く、体験的に学ぶ機会を増やして欲しい。
- ・具体的な手立てや実践例を示して欲しい。
- ・児童の心に響く言葉かけが課題です。
- ・授業をどうしたら分かりやすく楽しくなるのか。
- ・発問のしかたについて。
- ・子どもとの接し方、保護者への対応について。
- ・授業規律をつける工夫を知りたい。

小学校音楽科実技実習ベーシック講座

新規開講

ひと工夫で生き生き授業

ピアノをさわらなくても、授業が終わった時、「今日は楽しかった。またやりたい。」と子どもたちが言ってくれるような指導のひと工夫をたくさん紹介します。



ITECの楽しい授業のひと工夫

新規開講

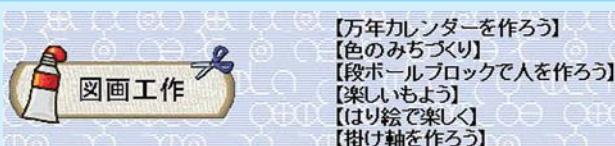
小学校図画工作科実技実習ベーシック講座

何をどのように指導するか？

基礎・基本から始めよう

子どもたちに楽しく豊かな表現をさせる指導の工夫やポイントを紹介します。

絵・工作など、造形活動の指導を中心に、授業に生かせる内容です。



ITECの楽しい授業のひと工夫

新規開講

小学校家庭科実技実習ベーシック講座

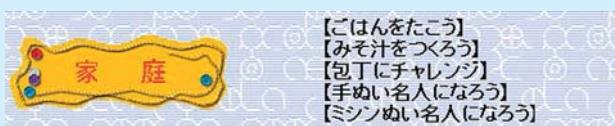
“できた” “すごい” という感動を！

作りあげる喜びを

子どもたちに体験させたいですね！

子どもたちの笑顔あふれる実技指導を創造しましょう。

すぐにできる楽しい授業のひと工夫をたくさん紹介します。



ITECの楽しい授業のひと工夫

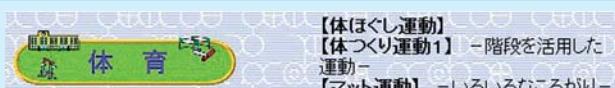
新規開講

小学校体育科実技実習ベーシック講座

体つくり運動 器械運動 陸上運動

体を動かすことの楽しさを

体育の時間を楽しみにしてくれる授業づくりを目指し、体力の低下が続いている現状を開拓する運動の指導方法と評価について、実習と研究協議を織り交ぜて行います。



ITECの楽しい授業のひと工夫

[ホーム](#) → [学校支援](#) → [小学校](#) → [楽しい授業のひと工夫](#) → [音楽](#)・[図画工作](#)・[家庭](#)・[体育](#)

特別支援教育コーディネーター講座

特別支援教育コーディネーター養成講座 2会場で実施

特別支援教育コーディネーターとして必要な知識、技能を学びます。

個別の指導計画の作成等について少人数グループで研究協議や演習をします。

特別支援教育コーディネータースキルアップ講座

教育局ごと実施（午後開催）

地域実態に合った支援体制の整備等の具体的な内容を取り上げます。
研修を通して各校のコーディネーターのネットワーク化を図ります。

ITEC 活用

学校教育相談の講座

学校教育相談実技実践基礎講座 Iは3会場、IIは2会場で実施

学級担任を支援するための学校教育相談の基礎的な知識・技能を学びます。

学校教育相談実技指導者養成特別講座

学校教育相談の指導者として必要な知識・技能を学びます。

学校教育相談事例研究講座

上記2講座のいずれかを修了した受講者を対象にしています。

不登校、登校しぶりの事例研究を通して専門的力量を高めます。

小学校理科ものづくり講座

新規開講

ねらい▼

知的好奇心を高め、実感を伴う理解

今日「理科離れ」といわれていますが、理科の授業改善・工夫を図り、興味・関心を高め学習意欲をわかせる授業を目指し、「理科大好きっ子」を育てる講座です。

理科の授業で学んだことを生かして、おもちゃや簡単な実験器具を子どもたちが作り、体感して理解を深めるための講座です。

学習した知識を確実に身に付ける「確かな学力」の育成を図るために、学習内容に応じた実験器具等の事例を紹介するとともに、受講者も作成します。

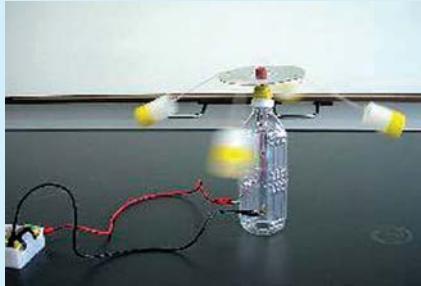
講座の中で考えられた実験器具や学校で使用された優れた器具等をITECで紹介する予定です。

ITEC 活用

夏期休業中に実施します。

「理科大好きっ子」の育成

【教材例 メリーゴーランド】



電池の直列と並列の違いによる
メリーゴーランドの速さは？

小学校理科実験ベーシック講座（A・C区分）

新規開講

■今年度■

「小学校理科実験ベーシック講座（B区分）」

受講者から好評を得ました

「理科大好きっ子」の育成

■新たに■

「小学校理科実験ベーシック講座（A・C区分）」を新規開講 !!

「小学校理科ものづくり講座」と同様に「理科大好きっ子」を育てる講座です。特に、観察・実験を重視し、実験技能の基礎を身に付けることが理科教育では大切です。

本講座では、教科書に出てくる実験や少し工夫した実験を取り上げ、安全面等を配慮した指導方法について実習を行います。

本年度、B区分の受講者の感想で、「苦手意識があり、実験から遠ざかっていたが、講座を受講して実験に対して自信がわいてきました。子どもたちに実験をさせてやりたい。」という意見が寄せられました。

受講後もITECの「小学校理科実験基本マニュアル」を利用すれば、講座内容の確認がいつでもできます。

ITEC 活用

健康安全教育講座

「自動体外除細動器（AED）の使用方法」を取り上げます。

心臓突然死対策として、昨年7月から、一般の人にも緊急時に自動体外除細動器の使用が認められることになりました。京都府では、各保健所及び府立施設等に配備されています。

児童生徒を突然死から救う手段として期待が寄せられています。健康安全教育担当教職員を対象にして「自動体外除細動器の特性と使用方法」についての研修を行います。

府立学校技術職員（校務）研修講座

新規開講

学校技術職員の研修機会を設けます。府立学校を会場に、内容は学校環境などについての講義や演習です。